これでいいのか 行政改革調査専門委員の選考

米永　實議員

行政改革調査専門委員を選考されたが、何を基準にしたのか。地区別に見ると、野方・立小野校区は２６０世帯に一名、大崎校区約１０００世帯に１名、菱田校区は５００世帯に１名の選考であるが、大丸校区７７６世帯、中沖６４１世帯、持留校区４６１世帯中１名の選考もない。地域を無視した変わった選考である。等しく住民の目線での改革ができるのか心配される。

行政改革調査専門委員会

積極性ある人材の選考

町　長

14名の委員の選考をした。公募の委員は過去において団体企業で改革を手がけた方々であり、ノウハウを持つ人材である。選考にあっては、分館・ＪＡを始めとする組織に委ね、積極性のある方々を選考した。第一回の委員会を開催したところであるが行革を進めるうえですばらしい人材と考える。

特別職報酬の見直しはどうするのか

米永議員

町長は合併しなかった場合、私たちの特別職報酬や特別職、また、管理職手当て等の見直しに積極的に取り組むと答弁した。議案を見る限り積極性にかけている。見直しをするのか。

12月議会に提案

町　長

現在、調査専門委員会において検討していただいている。役場組織や管理職手当て等の見直しについては、若手職員の検討委員会で検討するが、今後、事務改善委員会や調査専門委員会、さらに行政改革推進本部で検討をかさね、17年度実施に向け努力する。

単独の考えは変わっていないか

米永議員

合併は国策であり、国・県は合併を推進、合併する市町村を優先して支援すると言う。行政サービスが現状のまま低下することなく維持できるのか。県内すべての市町村が取り組んでいる。住民は大きな損失をこうむる事にならないか。

徹底した行政改革に取り組む

町　長

投票の結果を真摯に受け止め、その判断に従い徹底した行政改革に取り組み町政を進めていく。

東串良町との合併をどう考えているのか

米永議員

東串良町の住民説明会では、奥園町長が大崎との合併を視野に大崎町の財政資料を説明しながら、東町長が東串良町との合併を議会に示している等と話した新聞報道がある。合併の話し合いがあったのか確認する。

投票の結果が単独である現行法での合併はない

町　長

東串良町では町民の声を聞くという事で説明会を開いた。合併については大崎町を希望するとの意見も多く住民の意思を無視できない。

私（奥園町長）の考えで大崎町を選択肢に入れる。理解してほしいと話はあった。それは、そちらの事であると申し上げた。大崎町は現時点での合併はない。

公約の早期実現を

米永議員

湧水を利用した街づくりはできるのか。中心商店街は空洞化が進んでいる。商工会は、潤いの町整備事業に取り組んでいるが、湧水文化構想が実現すると相乗効果が期待され、さらなる空洞化に歯止めがかかる。

大型体育施設の整備は、スポーツを中心とした新たな産業の育成等や、観光の拠点づくりになり、町外交流の場も増える。湧水文化構想・大崎スーパースタジアム・武道城構想は町長の公約でもあり早期実現はできないのか。

前向きに取組んで生きたい

町　長

商工会等と協議していく中で、三文字地区の湧水文化構想としてはむずかしく、空家等の活性化対策として変わってきている。大崎スーパースタジアム・武道城構想については、合併とのからみ、国・県の補助事業の問題を協議していく中で若干遅れているが、前向きに取り組んでいきたい。